

人口と世帯	人口	33,782人	(34人減)
	男	17,276人	(15人減)
	女	16,506人	(19人減)
9月1日現在	世帯	13,443	(12世帯減)
()は前月比	外国人登録数	640人	



楽しい時間を共有

9月13日、敬老会がスカイホール大ホールで午前と午後に分けて行われました。

橋 幸夫歌謡ショーでは、昔なじみの歌や巧みな話術で、会場は一体となり夢のような時間を共有しました。(関連記事 12・21 ページ)

おもな内容

平成19年度「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」・平成20年度「瑞穂町学力調査」についての瑞穂町立小・中学校の結果報告 2~3

みずほ伝言板 毎週木曜日は証明書交付など一部の業務について窓口時間を延長しています 4~8
 筑前琵琶による「源氏物語」&津軽三味線コンサート ほか

インフォメーション 20歳になったら国民年金に加入しましょう 9~11
 農ウオーク参加者募集 ほか

福祉 身体障害者(児)巡回相談のお知らせ 13~15
 脳を鍛えるウォーキングのすすめ ほか

教育委員会からのお知らせ 初心者パソコン講習 16~19
 総合文化祭 ほか

平成19年度「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」・平成20年度「瑞穂町学力調査」についての瑞穂町立小・中学校の結果報告

1 平成19年度「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」 平成20年1月15日実施

東京都が小学校4年生、中学校1年生を対象に実施した「基礎的・基本的な事項に関する調査」と、小学校5年生、中学校2年生を対象に実施した「問題解決能力等に関する調査」の結果について報告します。（東京都は平成15年度は中学校のみで実施、平成16年度からは小・中学校で実施しています）

平成19年度の調査より、東京都の調査方法が変わり、「基礎的・基本的な事項に関する調査」はこれまでの国語、算数・数学、社会、理科、英語から、国語と算数・数学のみになりました。

「基礎的・基本的な事項に関する調査」は、小学校4年生、中学校1年生を対象に各区市町村の抽出校および希望校で実施されています。瑞穂町では、学習の定着状況を確実に把握するために、全学校で実施しました。

また、「問題解決能力等に関する調査」は、小学校5年生、中学校2年生を対象に区市町村の全学校で実施されました。

(1) 「基礎的・基本的な事項に関する調査」 ○対象：小学校4年生、中学校1年生

調査結果（小4）		調査結果（中1）	
	（平均正答率%）		（平均正答率%）
	国語	算数	
東京都	84.8	77.2	国語
瑞穂町	74.5	67.0	数学
			東京都
			82.6
			73.6
			瑞穂町
			79.0
			63.6



実施した学年、教科において東京都の平均正答率を下回っています。小学校4年生では、国語で10.3ポイント、算数で10.2ポイント下回っています。また、中学校1年生では、国語で3.6ポイント、数学で10ポイント下回っています。

○小学校 国語では、話し合いの話題を理解して、設問に合った解答をする力や内容の中心となる部分を明確に記述すること、および文章を推敲する力に課題があります。読む力では、事柄の順序性や文脈の内容を的確に捉える力に課題があります。

算数では、二ケタの整数の掛け算や小数の引き算等の基礎的な計算力、および図形の分別等、また、引き算や掛け算の性質を用いたり、整数や計算の意味を理解したり、物の重さを量ったりする力に課題があります。

○中学校 国語では、推敲する力や文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える、正しい漢字を書くことに課題があります。

数学では、割合や比率等の理解、分配法則や結合法則、不等号の意味や使い方についての理解、分数の除法・乗法の計算等に課題があります。

(2) 「問題解決能力等に関する調査」 ○対象：小学校5年生、中学校2年生

問題解決能力等に関する調査（平均正答率%）

	小学校5年生	中学校2年生
東京都	59.8	56.3
瑞穂町	51.3	46.8

問題解決能力とは、現実の生活の中で生じるような問題に直面した場合に、学習したことを活用して問題を理解し、その解決に向けて見通しをもち、解決に必要な情報を収集・選択・分析したり、既得の知識・技能等を適用・応用させたりしながら思考・判断するといった一連の思考力を用いて、問題に対処し、解決することができる能力です。

○問題解決能力は、問題を発見する力、見通す力、適応・表現する力、意思決定する力、表現する力に分けられています。瑞穂町の児童・生徒の状況は、東京都の平均正答率と比較すると、小学校で8.5ポイント、中学校で9.5ポイント下回っています。問題解決能力は、学習したことを活用して問題を解く力が必要です。

○小・中学校ともに、設問の意味を十分に読み取ることができていないこと、また、課題解決に必要な情報を資料から読み取ったり分析したりしながら、既得の知識・技能等を活用して解答を導き出す力に課題があります。

2 平成20年度「瑞穂町学力調査」 平成20年4月22日実施

瑞穂町では、本年度より、小学校2年生から5年生、中学校1年生・2年生を対象に瑞穂町独自の学力調査を実施しました。その結果について報告します。

(1) 小学校 ○対象：2年生から5年生 ○実施教科：国語、算数

調査結果 国語

	2年生	3年生	4年生	5年生
目標値	68.9	73.9	64.4	60.4
平均到達度(瑞穂町)	67.8	73.3	70.5	54.8

調査結果 算数

	2年生	3年生	4年生	5年生
目標値	76.7	74.3	68.1	65.5
平均到達度(瑞穂町)	86.0	80.9	73.2	60.2

小学校では、国語、算数について、2年生から4年生までは、おおむね満足できる状況ですが、5年生では、国語で目標値より、5.6ポイント、算数で、5.3ポイント下回っています。学年が上がるに従って、目標値と平均到達度のポイントの差が広がっています。

○国語 書く力、読む力に課題があります。特に、書く力については、カタカナや漢字の読み書きや条件設定に基づいた短作文等に課題があります。また、読む力については、文脈に即した内容の理解や心情の理解等に課題があります。長文を読み、文節に書かれた内容理解はもとより、文章を最後まで読むことなどにも課題があります。

○算数 算数の問題作りや掛け算を活用した問題、図形の性質やきまりに対する知識・理解に課題があります。高学年になると面積の求め方や比例等について課題があります。

目標値とは、「おおむね満足できる状況」と判断される達成状況です。

平均到達度は、本調査における瑞穂町の児童・生徒の平均点です。

(2) 中学校 ○対象：1年生、2年生

○実施教科：1年生 国語、社会、算数・数学、理科 2年生 国語、社会、数学、理科、英語

調査結果 1年生

	国語	社会	算数・数学	理科
目標値	56.1	52.7	58.8	60.0
平均到達度(瑞穂町)	56.9	52.4	54.4	66.6

調査結果 2年生

	国語	社会	数学	理科	英語
目標値	62.4	50.0	46.1	48.2	59.3
平均到達度(瑞穂町)	58.0	41.0	41.5	41.2	56.4

中学校では、1年生は、おおむね満足できる状況ですが、2年生になると、各教科で、目標値より、2.9ポイントから9.0ポイント下回っています。

○国語 書く力、読む力に課題があります。書く力については漢字の読み書き、読む力については文脈に即した内容の理解や心情の理解等に課題があります。さらに言語についての知識・理解（文法）についても、定着状況に課題があります。

○社会 地理的分野の知識・理解に課題があります。歴史的分野については、歴史上の人物と建造物の関係や各時代の文化の特色、および制度等に対する知識・理解に課題があります。

○数学 分数の計算や平均の求め方、具体的な事項から一次方程式を作る問題、きまりや法則に従って考えたり、答えを導きだしたりする問題、さらには、図形の面積を求める問題等に課題があります。

○理科 物の燃焼や中和、水溶液等にかかわる内容、火山灰や地層等にかかわる地学的な内容、生物と環境等にかかわる内容についての科学的な思考や知識・理解等について課題があります。

○英語 単語や文型についての知識・理解、英文や会話文の読解問題等について課題があります。

問合せ 学校教育課 TEL 557-6694